

(第1回 午前)

2021(令和3)年度入学試験問題

国 語

(試験時間：50 分)

《注 意》

- (1) 問題は ～ まであります。
- (2) 解答はすべて解答用紙に書いてください。
- (3) 受験番号、氏名を忘れずに書いてください。
- (4) 解答用紙のみ回収します。
- (5) 解答に際して、句読点、符号などが含まれる場合には一字分として数えます。

城 西 大 学 附 属
城 西 中 学 校

一

次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

人々が行き交う歩道の隙間^{すきま}に、雑草が生えているのを見かけます。

あるものは茎^{くき}を横に伸ばしていたり、あるものは大きくなることなく、身を縮ませています。そんな雑草を見て、何だかわいそうと思ってしまいかもしれません。地べたで暮らす雑草たちを惨め^{みじ}に思ってしまうかもしれません。しかし、本当にそうでしょうか。

確かに他の植物たちが、天に向かって高々と伸びようとしているのと比べると、踏まれている雑草は成長していないように見えます。他の植物が高く高くと縦に伸びているのに、踏まれる場所の雑草は本当に縦に伸びることをあきらめてしまつて良いのでしょうか。

植物が上に向かって伸びようとするのには、理由があります。

先にも説明しましたが、植物が成長をするためには、光を浴びて光合成をしなければなりません。^①光を浴びるためには、他の植物よりも高い位置に葉をつけなければなりません。もし、

他の植物よりも低ければ、他の植物の陰^{かげ}で光合成をしなければなりません。^(ア)ユウリに光合成をするためには、他の植物よりも少しでも高く伸びなければならないのです。

光を求める植物たちにとって、自分がどれだけ伸びたのかという絶対的な高さは、じつは重要ではありません。光を浴びるために大切なのは、X という相対的な高さです。

そして、他の植物よりも少しでも上に葉を広げようと上へ上へと伸びるのです。

植物たちはこうして激しい競争を繰り返しています。

踏まれる場所の雑草は、本当にこの競争に^(イ)サンカしなくても大丈夫なのでしょうか。

^②もちろん、大丈夫です。

よく踏まれる場所には、上へ上へと伸びようとする植物は生えることができません。上へ伸びても踏まれて折れてしまうからです。

そのため、草高がゼロの横に伸びる雑草も、小さな小さな雑草も、広げた葉っぱいっぱい太陽の光を^(ウ)ゾンブんに浴びています。こんなに光を独占している植物は、他の場所ではなかなか見られません。

踏まれる場所に生える代表的な雑草に、^③オオバコがあります。

オオバコは漢字では、「大葉子」といいます。その名のとおり、大きな葉を持っているのが特徴です。その葉は見た目にはとても柔らかいです。しかし、その葉の中には丈夫な筋がしっかりと通っています。だからオオバコの葉は、踏みにじられてもなかなかちぎれないのです。柔らかいだけでは簡単にちぎれてしまいます。柔らかさの中に固さがあるから、その柔らかな葉は丈夫なのです。

（あ）、葉とは逆に、茎の外側は固い皮で覆われていて、茎の内部は柔らかいスポンジ状の髓が詰まっています。固いだけでは強い力がかかると耐えきれずに折れてしまいます。柔らかいだけではちぎれてしまいます。固さの中に柔らかさがあるから、その頑強な茎はしなやかで折れにくいのです。

「柔よく剛を制す」という言葉があります。この言葉は、剛（固いもの）よりも柔（しなやかなもの）が強いと解釈されることが多いですが、本当はそうではないようです。本来の意味は、「柔も剛もそれぞれの強さがあり、両方を併せ持つことが大切である」という意味だそうです。

踏まれるところに生える雑草の多くは、固さと柔らかさを併せ持った構造をしています。固いだけでも柔らかいだけでも踏みつけに耐えることはできません。固さと同時にしなやかな柔らかさを持ち、柔らかさの中にしっかりとした固さを持っている。それが踏まれて生きる雑草の強さの秘密なのです。

しかし、オオバコのすごいところは、それだけではありません。

（中略）

オオバコのシユシは水に濡れるとゼリー状の粘着液を出します。そして、靴や動物の足にくっつきやすくするのです。

こうして、オオバコのシユシは人や動物の足によって運ばれていきます。車に踏まれば車のタイヤにくっついて運ばれていきます。

こうなると、オオバコにとって踏まれることは、耐えることでも、克服すべきことでもありません。

踏まれなければ困るほどまでに、踏まれることを利用しているのです。道ばたのオオバコた

ちは、どれも、みんな踏んでもらいたいと願っているはずです。（い）逆境をプラスに変えているのです。

逆境をプラスに変えるというと、ポジティブシンキングのように、悪いことを良いこととして考えることかと捉えられがちです。

（う）マイナスのことをどのようにプラスに捉えるかは大切です。

（え）、単なるレトリックではなく、^(オ)ジツサイに雑草はより⁽⁴⁾合理的に、より具体的に、マイナスを確かなプラスに変えているのです。

踏まれた雑草は立ち上がりません。

踏まれた雑草は上にも伸びません。

そもそも、立ち上がらなければならないのでしょうか。

そもそも、上に伸びなければならないのでしょうか。

踏まれて生きる雑草を見ると、そんなことを教えられます。

上に伸びることしか知らなければ、踏まれたときにポキンと折れてしまいます。

踏まれたままでもいいのです。

伸びる方向は自由です。横に伸びたっていいのです。

そして、⁽⁵⁾本当は伸びなくなつていいのです。

上に伸びることができなくなったとき、横にも伸びることができなくなったとき、雑草はどんな成長をしますか。

そうです。

雑草は下に伸びます。

根を伸ばすのです。

根を伸ばしても、見た目には成長していないように見えるかもしれません。しかし、見えな
いところで根が成長していきます。

根は植物を支え、水や養分を吸収する大切なものです。

人間も、「根性」や「心根^{こころね}」という言葉を使います。

本当は、根っこが大事だと知っているのです。

昔の人たちは、大切に水をやっている野菜や作物が夏の日照りで枯れていくのに、どうして誰も水をやらない雑草が青々としているのだろうと不思議がりました。

⑥ 水をもらっている作物と、誰も水を与えてくれない雑草では、根の張り方が違います。

つらいとき、耐えるとき、雑草はじつと根を伸ばします。

その根っこが、日照りになったときに、力を発揮するのです。

（稲垣栄洋『はずれ者が進化をつくる』）

問一 ~~~~部(ア) (オ)を漢字に改めなさい。

問二 ——部①「光を浴びるためには、他の植物よりも高い位置に葉をつけなければなりません」とありますが、どういうことですか。その説明としてもっともふさわしいものを次のア～エの中から選び、記号で答えなさい。

ア 他の植物より少しでも高い位置に葉をつけることで他の植物の葉との間に空間ができ、結果的に全ての植物が太陽の光を受けることができるということ。

イ 他の植物と縦に伸びることの競争に勝つためには雑草のように踏まれては不利になるため、踏まれないような工夫をすることで成長ができるということ。

ウ 他の植物より少しでも背を伸ばして葉をつけることでその植物は上から何かにさえぎられることがないので、太陽の光を浴びることができるということ。

エ 他の植物とは違う方向に伸びることによって太陽の光を浴びられる場所を争う必要がなくなり、順調に光合成をすすめ成長することができるということ。

問三

X

にあてはまる表現としてふさわしいものを次のア～エの中から選び、

記号で答えなさい。

ア 生まれてから、自分がどれくらい伸びたか

イ 他の植物よりも、少しでも高く伸びる

ウ 少しでも広い場所に、大きい葉をつける

エ てっぺんから根っこまでどれだけ長いか

問四

——部②「もちろん、大丈夫です」とありますが、その理由を学んだ後の感想として
もっともふさわしいものを次のア～エの中から選び、記号で答えなさい。

ア 光を浴びたくても上へ上へ伸びようとすることは逆効果になってしまうんだね。

イ 高さではなく面積で光をたくさん浴びようとしているなんて気づかなかったよ。

ウ 草たちは生える場所によって光を浴びるための特徴がずいぶんちがうんだね。

エ どんなに踏まれても折れることのない力強さを身につけるのは大変そうだな。

問五

——部③「オオバコ」の特徴について正しくまとめられているものを次のア～エの中
から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 葉は、表面は柔らかいが中は丈夫な構造を持っており、茎は、内部は柔らかいが外は
固い構造を持っており、どの部分でもバランスを保っている。

イ 葉自体は全体的に柔らかい構造をしているが、茎は全体的に固い構造をもっているの
で全体としてみた場合ちょうど良いバランスを保っている。

ウ 葉は、見た目は固いが中には柔らかい筋が通っており、茎は柔らかいスポンジ状の髄
の中に丈夫な軸が通っているので、どの部分でもバランスを保っている。

エ 葉は見た目には柔らかさを感じさせるが実際は固く、茎自体には丈夫なスポンジ状の
髄が詰まっているため、全体的にバランスを保っている。

問六（あ）（え）に当てはまる言葉をそれぞれ次のア～オの中から選び、記号で答えなさい。

ア まさに イ たしかに ウ また エ しかも オ しかし

問七 —— 部④「合理的」の意味を次のア～エの中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 伸び伸びとよく育ち、活発なさま。

イ 説明的で、ことばを使いこなすさま。

ウ 肉体も精神も強く、たくましいさま。

エ 仕事がよくはかどり、むだがないさま。

問八 —— 部⑤「本当は伸びなくなっているのです」とありますが、ここではどのようなことを伝えるためにこのように述べているのですか。その説明としてふさわしいものを次のア～エの中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 無理をして競争し、わざわざくたびれる必要はないからそのままでよいということ。

イ 下に根を伸ばすことで栄養を吸収するための部位を伸ばすことができるということ。

ウ 横に伸びることで他の植物とは違う角度から養分を得て成長ができるということ。

エ 上に伸びることしか知らないと折れてしまうから、伸びるべきではないということ。

問九 —— 部⑥「水をもらっている作物と、誰も水を与えてくれない雑草では、根の張り方が違います」とありますが、どのように違うのですか。文脈に即して自分で考え、解答らんに合うような形式で説明しなさい。

二

次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

スーパーの開店十周年記念セールで、着ぐるみを着て風船を配るアルバイトをすることになった「わたし」は、お店から渡されたウサギの着ぐるみを着ると、全員がぬいぐるみや玩具^{がんぐ}に見える特別な力を持った。「チヨ子」は、「わたし」が幼いころに大切にしていた、白いうさぎのぬいぐるみである。

着ぐるみ——ぬいぐるみでは、いちばん人気はパンダのようだった。大人のお客さんたちのぬいぐるみは、ほとんどみんなが、どこかしら傷^{いた}んで汚れていた。手がとれていたり、耳が切れていたりするものも多い。

思い出だけ残して、忘れ去られた玩具たち。捨てられてしまったものもあるだろう。ちょっと見て、何だかわからないくらい汚くなっているものは、きっとそういう玩具だ。

田中さんの言うとおり、着ぐるみを着て動き回るのはけっこうな重労働なので、休憩時間はひんばんにもらえた。わたしは事務の人に頼み、接着剤をもらった。わたしのチヨ子のほつれているところを修理したかったのだ。本当は縫^ぬい合わせてあげたかったのだけれど、着ぐるみを着たままでは、細かい針仕事はできない。

「その着ぐるみ、どこも破れてないけど？」

① 接着剤をくれた事務の人は、不思議そうな顔をしていた。わたしは笑ってごまかして、更衣室でチヨ子に応急処置をしてやった。

午後三時ごろになると、だいぶ疲れてきた。一方で、ぬいぐるみと玩具の大作進にはすっかり慣れてしまった。もうどんなものがそこらを歩いていても平気だ。コンニチハと言って風船を差し出すだけだ。

と思っていたら——

② 一人だけ、普通の子供を見かけた。そちらの方が自然なのに、わたしはとても驚いた。中学一年生ぐらいだろうか。顎^{あご}のちよっとしゃくれた、きかん気そうな少年だった。

Tシャツにジーンズ、ブランドもののスニーカーを履^はいている。

日曜日なのだし、このお店では文房具なども扱^{あつか}っているの、中学生が一人で来てもおかし
くはない。少年がお客さんたちの流れに混じって店内に消えてゆくのを、わたしは目で追って
見送った。

あの子には、小さいとき大切にした玩具がなかったのかしら。今も、何もないのかしら。
まあ、そういうこともあるのだろう。わたしはまた風船配りに励んだ。

一時間ほどして、休憩をとろうと更衣室に戻りかけたら、奥の事務室がなんとなくあわただ
しい。通りかかった店員さんに、着ぐるみの頭を脱いで、どうしたんですかと尋ねた。

「万引きを捕まえたの」

店員さんは顔をしかめた。

「中学生なんだけどね。常習犯なのよ」

とっさにわたしは、さっきの、着ぐるみにも玩具にも見えなかった少年のことを思った。

「警察に報^{しら}せるんですか」

「どうか。まず親を呼ぶのが先ね」

しばらく後、冷たい物を飲み、汗をぬぐって着ぐるみを着なおし、わたしは店の前に行
くと、タクシーが一台路肩^{ろかた}に寄って、女の人を一人おろした。この人も、着ぐるみにも玩具に
も見えなかった。タクシーの運転手^{※1}さんはマグマ大使に見えるのに、女^{※1}の人はどこまでも普通
の人間にしか見えなかった。

顎の形が、あの少年に似ている。

きつとお母さんだ。

お店の奥へと消えてゆく。^③不機嫌^③そうな表情は、バーゲンに沸^わき立つ日曜日のスーパーに
は、ひどく不似合いなものだった。

夕暮れが近づき、ますますお客さんは多くなり、風船はなくなっても、チラシをまいたり、
子供たちと握手したりして、忙しかった。が六時であがる約束だ。そろそろだな——と思っ
ていると、あの女の人と少年が出てきた。

やっぱり母子^{おやこ}だったんだ。並んでいると、本当によく似てるのがわかる。

二人して、何かに押しつぶされたみたいなの、歪^{ゆが}んだ顔をしている。顎の噛^かみ合わせが悪く

なっちゃうよ。

二人はわたしのすぐ脇を通った。^{※2}しゃにむにずんずん歩いているので、ぶつかりそうになつてわたしは避けた^よ。

そして気がついた。二人の背中に、^④何かくつついている。

埃^{ほこり}のかたまりみたいなものだ。いや、煤^{すす}だろうか。黒くてふわふわしていて、何か気持ちの悪いものだ。

はっとして、わたしは着ぐるみの頭を脱いだ。急ぎ足で遠ざかる二人の後を、何歩か追いかけて近づいた。

少年のTシャツの背中にも、お母さんのブラウスの背中にも、何もくつついていない。

わたしはウサギの頭をかぶった。すると、また二人の背中に黒いものが見えた。今度ははっきりと、手の形に見えた。鉤爪^{かぎづめ}の生えた痩^やせた手。その指先が、少年とお母さんの肩を、後ろからつかんでいる。しかも、もぞもぞ動いている。背中を這^はう蜘蛛^{くも}みたいだ。

^⑤ぞつとして、わたしは震^{ふる}えた。

あれは何だろう？ 何かとても、とても、悪いものだという気がする。

^⑥着ぐるみや玩具を着ている人たちには、あんな黒い手は張りついていなかった。誰も、あんな気持ち悪いものに憑^つかれてはいなかったのに。

更衣室で着ぐるみを脱ぐと、壁に立てかけた。ピンク色のよれよれしたウサギは、きょとんとした顔でわたしを見ている。

「ねえ、あれ何？ わたしに何を見せてくれたの？」

もちろん、着ぐるみは何も答えてくれない。

わたしは考えた。あの母子の背中にくつついていた、不気味な黒いもの。世の中に漂^{ただよ}う、悪いもののことを。わたしたちは誰だって、それに憑かれる危険があるのだ。そして悪いことをしてしまう。万引きだって、そのひとつだ。

でも、ほとんどの人がそんな羽目にならないのは、身にまといっている着ぐるみや玩具たちに、守られているからじゃないのかな。

何かを大切にしたい出。

何かを大好きになった思い出。

人は、それに守られて生きるのだ。それがなければ、悲しいくらい簡単に、悪いものにくっつかれてしまうのだ。

⑦ このピンクのウサギの着ぐるみは、わたしにそれを見せて、教えてくれたのだ。

「あなた、凄^{すご}いね」わたしは着ぐるみに話しかけた。

五年間、倉庫に置きっぱなしにされているあいだに、中身が空っぽのウサギさんのなかに、何かが宿ったのだ。悪いものではなくて、そう、清らかなものだ。それはずっと息づいていて、この着ぐるみに不思議な力を与えた。

⑧ これ、欲しいな……と思った。

店長さんに交渉^{こうしょう}して、売ってもらおうか。だって、これから先、都会で知らない人たちに混じって暮らしていくわたしにとっては、これ以上心強い武器はないじゃないか。かぶってみるだけで、悪い人を見分けることができるんだもの。

そのとき、壁にもたれていた着ぐるみの頭が、ゆらりと傾いた。触ったわけではない。動かしたわけではない。

——やめておきなよ。

わたしに向かって、着ぐるみがかぶりを振ったのだ。

急に怖くなって、わたしは着ぐるみから一步離れた。着ぐるみのウサギは、今度は反対側にふらりと首を振って、元の位置に戻った。

今度も、触ったわけじゃないのに。

⑨ そうだね。やめとくよ」

声に出して、わたしは言った。

「わたしにはチヨ子がいるもんね」

ピンク色のウサギの顔が、かすかに笑ったように見えた。

※1 マグマ大使…手塚治虫の漫画作品。

※2 しゃにむに…あれこれ考えないで、その事だけを強引にする様子。がむしゃらに。

問一 ―― 部①「接着剤をくれた事務の人は、不思議そうな顔をしていた」とありますが、それはなぜですか。その理由としてふさわしいものを次のア～エの中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 事務の人には破れていない着ぐるみに接着剤をつけようとしている私の行動が理解できなかったから。

イ 着ぐるみの破れているところをかくしていたため事務の人にはそれを見つけることができなかったから。

ウ 事務の人はぬいぐるみを直すのであれば接着剤などではなく針と糸を使うのが当たり前だと思ったから。

エ ぬいぐるみの破れは応急処置をただけでどうにかなるような問題ではないと事務の人には思われたから。

問二 ―― 部②「二人だけ、普通の子供を見かけた」とありますが、その人物の説明としてもっともふさわしいものを次のア～エの中から選び、記号で答えなさい。

ア ウサギの着ぐるみを着た「わたし」にもこの子供はぬいぐるみやおもちゃのようには見えることがなかった。

イ 一見普通の中学一年生の子供のようにしていながら、とても自然に「わたし」のことを驚かせてきた。

ウ 顎のちよつとしゃくれたきかん気そうな少年だったため、店員から万引き犯ではないかと噂うわさされていた。

エ ブランドもののスニーカーを履いているものの、万引きをしないと日用品を買えないほどお金に困っていた。

問三 ―― 部③「不機嫌そうな表情は、バーゲンに沸き立つ日曜日のスーパーには、ひどく不似合いなものだった」とありますが、それはどういうことですか。その説明として、もっともふさわしいものを次のア～エの中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア バーゲンで人が多く、すごく混んでいるだけでも疲れるのに、息子のことで呼び出されて不愉快な気持ちになっているということ。

イ 万引きをしたとはいえ自分は母親として息子の良いところも知っているため、それを周囲が理解してくれていないことにいら立っているということ。

ウ 息子が万引きしたと知らされた少年の母の顔には嫌な気持ちが表れており、バーゲンで活気のある周囲の様子にはふさわしくないものであるということ。

エ 万引きをした自分の息子と、バーゲンに来ている他の子どもを比べ、自分の息子がいかに悪い子かということを実感しているということ。

問四 ―― 部④「何か」とありますが、それは何ですか。本文中から十一字で探し、抜き出して答えなさい。

問五 ―― 部⑤「ぞつとして、わたしは震えた」とありますが、この時の私の気持ちとしてもっともふさわしいものを次のア～エの中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア これまでに見たこともないくらい汚いものが背中にくっついていたので、近づきたくなかった。

イ 初めは背中に何かがくっついてるように見えたんだけど、よく見ると黒い手が動いており、恐怖を感じている。

ウ 未知のものを見たため、興奮していると同時に、もっとくわしく知りたいと考えている。

エ 万が一、自分にも黒いものが移ってしまったら困ると、身に迫ってきている怖さにおびえている。

問六 —— 部⑥「着ぐるみや玩具を着ている人たちには、あんな黒い手は張りついていなかった」とありますが、その理由を「わたし」はどのように考えていますか。本文中から二十七字で探し、初めと終わりの五字を答えなさい。

問七 —— 部⑦「このピンクのウサギの着ぐるみは、わたしにそれを見せて、教えてくれたのだ」とありますが、ピンクのウサギの着ぐるみが「わたし」に教えてくれた内容としてもっともふさわしいものを次のア～エの中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 物を大切にすることが環境問題等の人類が直面している課題の解決にも役立つということ。

イ わたしにとって長年大事にしてきたピンクのウサギの着ぐるみをこれからも大切にしなければならぬということ。

ウ わたしたちは日常生活の中で様々な人間に支えられており、人は一人で生きることができないということ。

エ 何かを大切にしてきたという思い出が、私たちに安定した充実感を与えてくれるということ。

問八 —— 部⑧「これ、欲しいな……」と思った」とありますが、それはなぜですか。その理由を本文中の言葉を用いて四十字以上五十文字以内で答えなさい。

問九 —— 部⑨「そうだね。やめとくよ」とありますが、このように言ったのはなぜですか。その理由としてもっともふさわしいものを次のア～エの中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 世の中のすべてのことが見通せてしまうのも精神的に良くないから。

イ ウサギにとりつかれて、人間らしさを見失ってしまう可能性があるから。

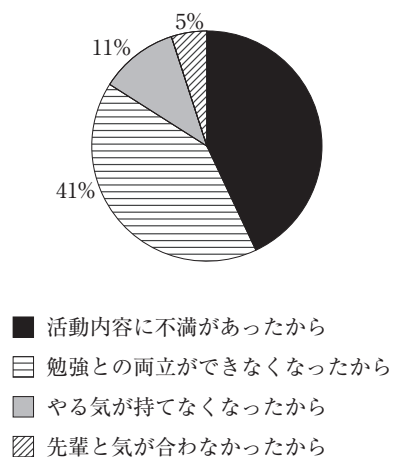
ウ ピンクのウサギではなく、チヨ子とのつながりを大切にしたいから。

エ みんなのウサギなのに、自分一人で独占することはわがままだといえるから。

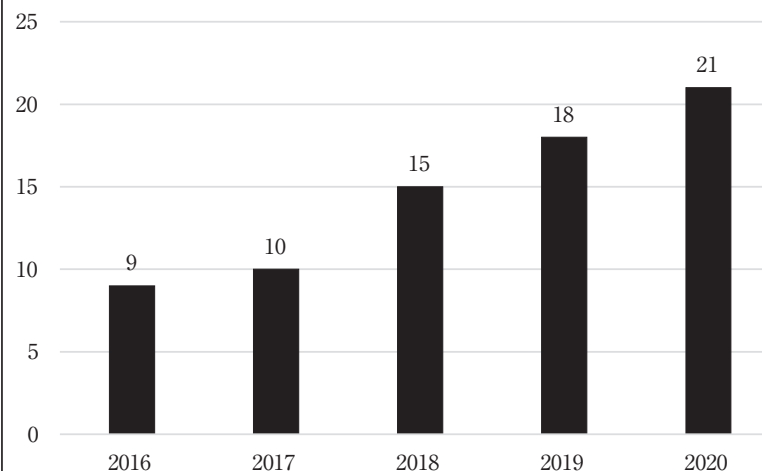
三

次の①～④のグラフは、とある中学校の部活動に関するアンケートです。生徒会役員であるAさん・Bさん・Cさんは、部活動を盛り上げるため先生へ提案するアイデアを話し合っています。三人の会話文を読み、後の問いに答えなさい。

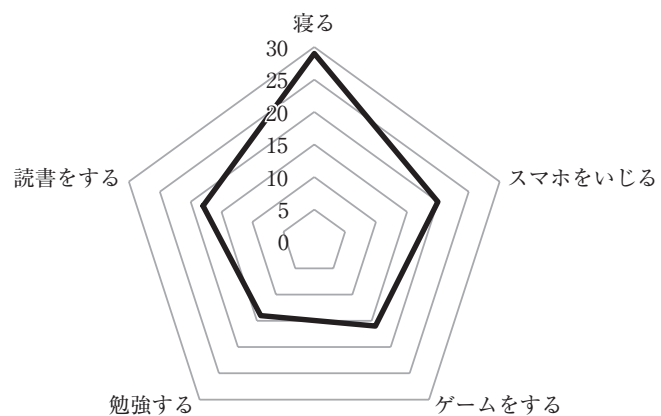
③退部した主な理由



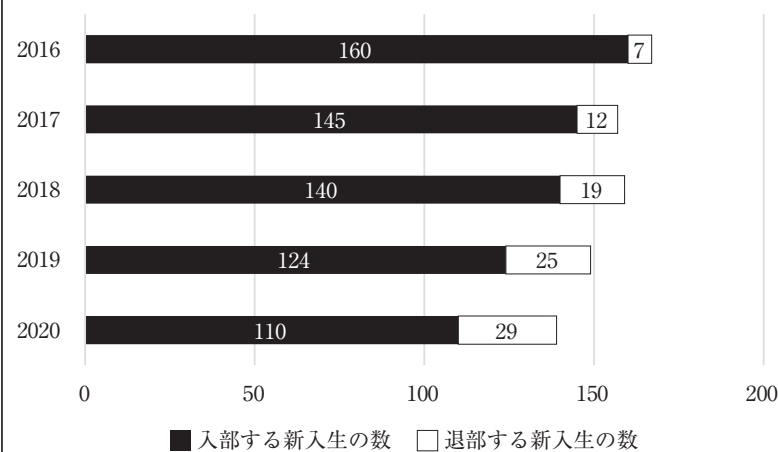
①中学校の部活動の種類



④活動後の自宅での過ごし方（平日）



②部活動に入部／退部する新入生の数



【会話文】

Aさん うちの中学校の部活動の種類は、年々（Ⅰ）していることがわかるね。

Bさん きつと生徒のやりたい活動の幅が広がっているんだね。色々なことに挑戦できるチャンスが増えたってことはいいことだと思うな。

Cさん そうだね。でも部活動に入部する生徒の数は（Ⅱ）している。

Aさん 部活動の幅は増えたけど、きつとそれぞれの部活動の部員の総数は（Ⅲ）しているということになるね。

Bさん しかも、退部する生徒の数も（Ⅳ）傾向にあるね。退部の理由を見てみよう。割合が多いものは、「活動内容に不満があったから」と、「勉強との両立ができなくなっ
たから」だね。

Cさん これって、部活動の部員の総数が（Ⅲ）したことで、満足いく活動が
①
ということではないかな。

Aさん なるほど。それなら納得がいくね。

Bさん では、部活動の種類を減らして、各部の部員数が（Ⅴ）すれば、退部する新入生
は減るはずだね。

Cさん ④のグラフを見ると、平日に自宅で学習をしている生徒は少ないね。
② 生徒が多いんだ。

Aさん 私も、部活動の練習で疲れて ② ことが結構あるなあ…。

Bさん だとしたら、最終下校時刻をもう少し早めて、自宅で使える時間を増やすというのは
どうだろう。

Cさん そうすれば、「 ③ 」という理由で退部する生徒も減るかもしれないね。

Aさん 確かにそうだね。そうすると今までより ④ 活動をするように
なるかもしれない。

Bさん それでは、私たちから先生たちに提案することは「部活動の数を減らすこと」と「最
終下校時刻を早めること」の二つということだね。

Cさん うん、それでいこう。

問一 (I) (V) には、「増加」「減少」のどちらかが入ります。「増加」が入る場合は「ア」で、「減少」が入る場合は「イ」で答えなさい。

問二 ① にあてはまる言葉を、十字以内で答えなさい。

問三 ② にあてはまる言葉を、五字以内で答えなさい。

問四 「 ③ 」にあてはまる言葉を、グラフ内から抜き出して答えなさい。

問五 ④ には、「最終下校を早めたことで起こる、活動の変化」が入ります。どのような変化が起こると考えられますか。会話文にあてはまるように十字程度で答えなさい。